

令和8年度 上越市立有田小学校 第2回学校運営協議会議事録

令和8年9月29日（火） 有田小学校 視聴覚室

進行 教頭

1 開会のあいさつ※略

2 学校長あいさつ・学校の取組について

- ・社会の変化や進路選択の多様化を踏まえ、子どもたちが主体的に学び、自ら選択・決定できる力を育てる教育を進めていきたいと考えている。
- ・2学期からは「有田コンパス学習」の考え方を取り入れ、子どもが自ら学び方を選択しながら学習に取り組む授業づくりを進めている。教職員も研修を重ねながら授業改善に取り組んでいる。
- ・ICT活用については、振り返りや学習の記録蓄積に有効なロイロノートの導入を検討している。また、ポジティブ行動支援（PBS）を充実させ、子どもの良さや頑張りを認める取組を進めていく。
- ・来年度の創立10周年事業に向けて準備を進めているほか、校内教育支援センター（SSR）の設置や登校時刻・校時表の見直しについても検討している。

3 学校評価（1学期）について

- ・学校評価アンケートの結果では、「学校へ行くのが楽しい」が児童約95%、保護者約96%となるなど、全体的に高い評価が得られた。
- ・今年度は数値結果だけでなく、子どもたちの実際の姿を大切にするため、教職員研修の方法を変更した。
- ・「未来戦略会議」として、来年度学校評価が100%になった姿を想定し、その状態を実現するためには何が必要かを逆算して考える研修を実施した。その結果、課題改善中心ではなく、「良さを伸ばす」「子どもの姿を認める」という視点が教職員に広がり、子どもとの関わり方や教職員の雰囲気にも変化が見られている。

4 意見交換

委員 A：自己選択・自己決定を重視することは大切だが、その先には自己責任も必要ではないか。また、個人の力だけでなく、仲間づくりや助け合いを重視する視点も大切である。

校長：自己決定の先には自己責任が伴うと考えている。学習の振り返りやメタ認知を通して、自分自身の学びを見つめる力を育てていきたい。また、PBSや縦割り活動を通して仲間づくりにも取り組んでいく。

委員 B：平和記念展示館で6年生と関わった際、例年以上に挨拶や受け答えがしっかりできており、子どもたちの成長を感じた。質問や感想も積極的であった。

校長：学校で進めている「ヨイ出し」や子どもとの関わり方の変化が、こうした姿につながっていると考えている。

委員 C：SNS やインターネット利用については、子どもだけでなく保護者も一緒に学ぶ機会が必要ではないか。

教 頭：教職員も課題意識を強く持っている。学校保健委員会や講演会を通じて、子どもと保護者の双方へ啓発を進めていきたい。

委員 D：保護者同士のつながりづくりや地域との連携を進めている。PTA としても SNS 利用や地域との協働について積極的に取り組んでいきたい。

委員 E：小学校は人格形成の基礎をつくる重要な時期である。学力だけでなく、人間性の育成を大切にしてほしい。

委員 F：子どもたちの挨拶や地域での様子を見る限り、評価結果の数値だけで判断する必要はないと感じる。地域と学校が協力しながら子どもを育てる環境づくりが大切である。

委員 G：地域・家庭・学校がそれぞれ役割を担いながらも、同じ方向を向いて子どもを育てていくことが重要である。

5 創立 10 周年記念事業について

教 頭：令和 9 年度に創立 10 周年を迎える。記念式典や子どもたちを中心とした記念行事の実施を予定している。今後、実行委員会等を組織し、詳細を検討していく。

6 閉会

副会長：今後も学校・家庭・地域が協力しながら有田小学校の教育活動を支えていきたい。

* 本議事録は発言の趣旨をまとめたものであり、発言そのものを記録したものではありません。